

キュウリの栽培暦

JA越前たけふ

・JA越前たけふのキュウリは、施設栽培により、5月～7月、9月～12月に出荷されています。
春～夏に出荷される半促成栽培は越前市中平吹でつくられており、エコファーマー(慣行栽培の減化学肥料・減化学農薬2割減)に取り組んでいます。

(半促成栽培例 土耕 品種 ときわ節成、ズバリ163/ときわパワーZ2(黒だねカボチャ))

月	旬	管 理	病虫害の発生	薬 剤	生育の様子
1	上	播種			
	中	接ぎ木			
	下	鉢上げ			
2	上	播種	苗立枯病	オーソサイド	接ぎ木の様子 
	中	接ぎ木・鉢上げ			
	下	圃場準備			
3	上	定植			トンネル除去後 
	中				
	下				
4	上	適宜 整枝・摘葉 収穫開始			生育後期(収穫中) 
	中				
	下				
5	上		べと病	ビスダイセン水	生育後期(収穫中) 
	中				
	下				
6	上	↓ 収穫終了	べと病・褐斑病 うどんこ病	ダコニール1000	生育後期(収穫中)
	中				
	下				
7	上	↓ 収穫終了	べと病 うどんこ病 褐斑病	ストロビーフロアブル	生育後期(収穫中)
	中				
	下				

施肥例 (kg/10a)

肥料名	基 肥	追 肥
石灰類	120	主枝の摘心3～4日前に1回目の追肥を窒素成分 1kg/10a施す。 500kg/10aの収穫に対し、かん水を兼ねて液肥を1回当たり窒素成分で1～1.5kg/10a程度追肥する。
ようりん	40	
有機ブリケット特S90号	180	
そさい3号	20	
成分合計	N14.0 P ₂ O ₅ 20.8 K ₂ O11.8	



箱詰めされたキュウリ

(抑制裁培例 土耕 品種 ときわ節成、ズバリ163/ときわパワーZ2(黒だねカボチャ))

月	旬	管 理	病虫害の発生	薬 剤	生育の様子
7	上	播種	苗立枯病	オーソサイド ダコニール1000	
	中	接ぎ木鉢あげ			
	下	圃場準備・定植			
8	上	定植	うどんこ病・ウリノメイガ	カリグリーン・ガードジェット	生育中(親芯摘心頃)
	中				
	下	収穫はじめ			
9	上	整枝・摘葉	うどんこ病・ウリノメイガ	パンチョTF顆粒水・スピノエース	
	中		べと病・褐斑病	ビスダイセン水	
	下		ハスモンヨトウムシ	アフーム乳	
10	上		うどんこ病・ウリノメイガ	ラリー水・モスピラン溶	↓
	中		べと病	ジマンダイセン水	
	下		ヨトウムシ	ゼンターリ顆粒	
11	上		べと病	ランマンフロアブル	↓
	中				
	下				
12	上	↓ 収穫終了			↓ 選果場
	中				
	下				

施肥例 (kg/10a)

肥料名	基 肥	追 肥
石灰類	100	抑制の場合、1番果の収穫が始まった頃に初回の追肥を行う。 500kg/10aの収穫に対し、かん水を兼ねて液肥を1回当たり窒素成分で1~1.5kg/10a程度追肥する。
ようりん	40	
有機ブリケット特S90号	180	
成分合計	N10.8 P ₂ O ₅ 18.8 K ₂ O9.0	



作見会風景